

令和5年度 霧島ジオパーク推進連絡協議会 定例総会

日時：令和5年5月11日（木）16：00～
会場：霧島市役所 別館4階 大会議室

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 協議会への入会者報告
 - (2) パートナーシップ協定締結報告
- 4 協議事項
 - 【議案第1号】 役員改選について（会長・副会長）（P1参照）
 - 【議案第2号】 協議会規約改正について（P2～6参照）
 - 【議案第3号】 令和4年度事業報告について（P7～21参照）
 - 【議案第4号】 令和4年度収支決算及び監査報告について（P22～26参照）
 - 【議案第5号】 霧島ジオパーク・課題解決アクションプラン2023-2026（案）
について（別冊1）
 - 【議案第6号】 令和5年度事業計画（案）について（P27～29参照）
 - 【議案第7号】 令和5年度収支予算（案）について（P30～35参照）
 - 【議案第8号】 霧島ジオパーク推進連絡協議会組織図・推進体制（案）について（P36参照）
- 5 その他
- 6 閉会

霧島ジオパーク推進連絡協議会の役員改選について

霧島ジオパーク推進連絡協議会規約第5条の規定により、第4条に定める下記役員が2年の任期を迎えるにあたり、「役員改選について」を議題とする。

協議会役職	氏名	任期(2年)
会長	中重 真一 (霧島市長)	令和5年5月11日
副会長	池田 宜永 (都城市長)	令和5年5月11日

※任期満了日は、総会日で変動する取扱いとしています。

■参考資料

～霧島ジオパーク推進連絡協議会規約抜粋～ 第4条、第5条関係

(役員)	
第4条 協議会に次の役員を置く。	
(1) 会長	1名
(2) 副会長	1名
(3) 監事	2名
2 役員は、総会において会員の互選により選出する。	
3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。	
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。	
5 監事は、協議会の会計及び会務を監査する。	
(役員任期)	
第5条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。	
2 役員は、その任期が満了した場合でも、後任者が就任するまでの間は、引き続きその職務を行う。	
3 欠員補充のため選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。	

～その他役員任期一覧～

協議会役職	氏名	任期
監事	白坂 勝弘*1 (R4. 4. 29～R5. 3. 31)	令和5年3月31日
	川野 利光*1 (R5. 4. 1～R6. 4. 28) <small>((一財)自然公園財団えびの支部・高千穂河原支部 所長)</small>	令和6年4月28日
監事	徳重 克彦 <small>((公社)霧島市観光協会 会長)</small>	令和6年4月28日

*1 (一財)自然公園財団えびの支部・高千穂河原支部所長の異動に伴う。

霧島ジオパーク推進連絡協議会の規約の改正について

【改正理由】

環霧島会議との統合及び、会員の名称変更等により本規約の改正を行うものです。

- 環霧島会議との統合による条文の改正
- 会員の会社合併等に伴う名称変更
- 協議会顧問の退任及び顧問から会員へ入会
- 学術委員の名称変更

霧島ジオパーク推進連絡協議会規約の一部を次のように改める。

第1条中「環霧島会議を組織する地域（以下「環霧島地域」という。）」を「環霧島地域」に改める。

別表中

「（一財）自然公園財団えびの・高千穂河原支部所長」を「（一財）自然公園財団えびの支部・高千穂河原支部所長」に、

「宮交ショップアンドレストラン株式会社代表取締役」を「宮崎交通株式会社代表取締役」に、

「(一社)霧島山麓湧水町観光協会代表理事」を「(一社)霧島山麓湧水町観光協会代表理事」に、
環境省霧島錦江湾国立公園管理事務所長

改める。

参考中

「鹿児島大学名誉教授 岩松 暉」を「鹿児島大学総合科学域総合教育学系総合教育」に、
機構共通教育センター准教授 井村 隆介
国土交通省宮崎河川国道事務所長
環境省えびの管理官事務所国立公園管理官

「都城市教育委員会 栗畑 光博」を「九州大学アジア埋蔵文化財研究センター学術研究者 栗畑 光博」に、「高原町役場 大學 康宏」を「高原町教育委員会 大學 康宏」に改める。

附 則

この規約は、令和5年5月 日 から施行する。

霧島ジオパーク推進連絡協議会規約（案）

（設置）

第1条 **環霧島地域**の美しい地質遺産を、地域住民、行政等が連携して保護・研究し、教育的活用やジオツーリズムの場として利用できる環境整備を行うことにより、地域社会の活性化に寄与することを目的として、霧島ジオパーク推進連絡協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（事業）

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 環霧島地域における自然保護に関する事業
- (2) 環霧島地域における地質学的、生態学的調査研究に関する事業
- (3) 環霧島地域の有するジオパーク資産を利用した教育啓発及び観光に関する事業
- (4) 上記事業を達成するための地域連携や情報発信等に関する事業
- (5) その他、目的を達成するために必要な事業

（会員）

第3条 協議会の会員は、別表のとおりとする。

- 2 会長は、入会しようとする者が協議会の目的に賛同し、活動及び事業に協力できると認めるときは、入会を承認し、次の総会に報告するものとする。

（役員）

第4条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

- 2 役員は、総会において会員の互選により選出する。

- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

- 5 監事は、協議会の会計及び会務を監査する。

（役員任期）

第5条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員は、その任期が満了した場合でも、後任者が就任するまでの間は、引き続きその職務を行う。

- 3 欠員補充のため選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。

（顧問）

第6条 協議会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が委嘱し、次の総会に報告するものとする。

- 3 顧問は、協議会に対し必要に応じて助言を行う。

（学術委員）

第7条 協議会に学術委員を置くことができる。

- 2 学術委員は、会長が委嘱し、次の総会に報告するものとする。

- 3 学術委員は、協議会に対し必要に応じて助言を行う。

(会議)

第8条 協議会の会議は、総会及び幹事会とする。

(総会)

第9条 総会は、定例総会及び臨時総会とする。

2 定例総会は、毎年1回、臨時総会は、必要に応じ開催する。

3 総会は、会長が招集し、会長が議長となる。

4 総会は、会員の2分の1以上の出席(委任状を含む)がなければ開くことができない。

5 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

6 総会は、次の事項を審議し、議決する。

(1) 規約の制定又は変更

(2) 事業計画及び収支予算の承認

(3) 事業報告及び収支決算の承認

(4) その他幹事会において必要と認めた事項

(幹事会)

第10条 幹事会は、協議会の運営について具体的な検討を行い、次の事項を審議する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) その他会長において必要と認めた事項

2 幹事会の構成及び運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮りこれを定める。

(専門部会)

第11条 専門部会は、ジオパークの活動について、その必要性に応じ事業を計画し実施する。

2 専門部会の構成及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(会計)

第12条 協議会の経費は、環霧島地域の市町の負担金及びその他の収入をもって充てる。

2 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(委任)

第14条 この規約に定めるもののほか、協議会の会務の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成20年10月14日から施行する。

(会計年度)

2 第10条の規定は、平成21年度から適用する。

附 則

この規約は、平成22年10月13日から施行する。

附 則

この規約は、平成28年4月11日から施行する。

附 則
この規約は、令和3年5月31日から施行する。

附 則
この規約は、令和4年4月28日から施行する。

附 則
この規約は、令和5年5月 日から施行する。

別表

会 員	都城市長
	都城市議会議長
	高原町長
	高原町議会議長
	小林市長
	小林市議会議長
	えびの市長
	えびの市議会議長
	霧島市長
	霧島市議会議長
	曾於市長
	曾於市議会議長
	湧水町長
	湧水町議会議長
	宮崎県北諸県農林振興局長
	宮崎県西諸県農林振興局長
	鹿児島県始良・伊佐地域振興局長
	鹿児島県大隅地域振興局長
	霧島商工会議所会頭
	(公社)霧島市観光協会会長
	南九州ケーブルテレビネット(株)代表取締役
	霧島温泉旅館協会会長
	鹿児島県上野原縄文の森園長
	霧島市商工会会長
	霧島市特産品協会会長
	<u>(一財)自然公園財団えびの支部・高千穂河原支部所長</u>
	宮崎地質研究会会長
えびの市商工会会長	

	南国交通(株)空港自動車営業所長
	えびの市観光協会会長
	霧島市国際交流協会会長
	霧島市文化協会会長
	(一社)都城観光協会会長
	(一社)都城青年会議所理事長
	都城商工会議所会頭
	霧島ネイチャーガイドクラブ会長
	霧島ジオネット代表
	小林まちづくり株式会社代表取締役
	<u>宮崎交通株式会社代表取締役</u>
	小林商工会議所会頭
	高原町観光協会会長
	高原町商工会会長
	(一社)曾於市観光協会会長
	(公社)鹿児島県地質調査業協会理事長
	えびの青年会議所
	湧水町商工会会長
	(一社)霧島山麓湧水町観光協会代表理事
	<u>環境省霧島錦江湾国立公園管理事務所長</u>

参考

幹 事	構成市町の担当課長（7名）
	宮崎県北諸県農林振興局 総務課長
	宮崎県西諸県農林振興局 総務課長
	鹿児島県始良・伊佐地域振興局 総務企画部総務企画課長
	鹿児島県大隅地域振興局 総務企画部総務企画課長
顧 問	鹿児島大学総合科学域総合教育学系総合教育機構共通教育センター 准教授 井村 隆介
	国土交通省宮崎河川国道事務所長
	九州森林管理局鹿児島森林管理署長
	九州森林管理局宮崎森林管理署都城支署長
学 術 委 員	<u>九州大学アジア埋蔵文化財研究センター学術研究者 栗畑 光博</u>
	<u>高原町教育委員会 大學 康宏</u>

令和4年度霧島ジオパーク推進連絡協議会事業報告

今年度は、日本ジオパーク委員会にエリア拡大の申請を行い、昨年9月にエリア拡大が認定された。新しいエリアは従来の構成自治体に湧水町を加えた5市2町の全域に及び、霧島山とその麓一帯を包み込むように広がった。

拡大したエリアでは、周知イベント等の開催や関連団体との連携・協働によるツーリズムの推進、民間事業者とのパートナーシップ協定の締結など、環霧島地域の持続可能な発展に取り組むこととした。

1 日本ジオパークエリア拡大認定に関する取組み



4月26日に日本ジオパーク委員会にエリア拡大の申請(写真左上)を行い、5月21日のプレゼンテーション審査(写真右上)、8月16日から19日の現地調査(写真左下: 首長ヒアリング 写真右下: 現地調査「栗野岳温泉八幡大地獄」)を経て、これまでのエリアの約3.3倍となる総面積約27万5千ヘクタールで9月28日に認定された。

審査結果では、霧島山の自然環境と5市2町の文化圏を尊重した領域となったことなどの評価を得るとともに、今後の課題としては、運営体制整備やサイトの保全・管理の方法の検討、地域住民自らがジオパークに住んでいると認知できるような活動を進めてほしいことなどの指摘を受けた。

指摘課題に対して、関係者による審査結果検討会を重ね「霧島ジオパーク・課題解決アクションプラン2023-2026」を策定し、今後、令和3年度に策定した「第2次霧島ジオパーク基本計画」及び「霧島ジオパークアクションプラン2022-2029」と合わせて取組を行うこととした。

月日	分類	内容	場所	参加者
4/28	主催	湧水町協議会加入及びエリア拡大申請合同記者発表	霧島市役所	2名
5/21	参加	エリア拡大申請プレゼンテーション	千葉市幕張メッセ	-
6/22	主催	第1回霧島ジオパーク・エリア拡大現地調査関係会議	霧島市(国分公民館)	25名
7/6	主催	第2回霧島ジオパーク・エリア拡大現地調査関係会議	オンライン	26名
7/20	主催	第3回霧島ジオパーク・エリア拡大現地調査関係会議	オンライン	23名
8/3	主催	第4回霧島ジオパーク・エリア拡大現地調査関係会議	オンライン	26名
8/16 ~19	対応	日本ジオパーク新規認定(エリア拡大)現地調査	霧島ジオパークエ リア内	-
9/28	主催	日本ジオパーク・エリア拡大認定審査結果記者会見	霧島市(霧島市役所)	1名

2 協議会運営等に関する取組み



令和4年度は定例総会を1回、幹事会を5回、環霧島会議との統合に向けた合同会議を3回実施した。内容は、予算関係、人員体制、業務連携など前回の再認定時に受けた課題解決策とエリア拡大新規認定申請の協議が主となった。

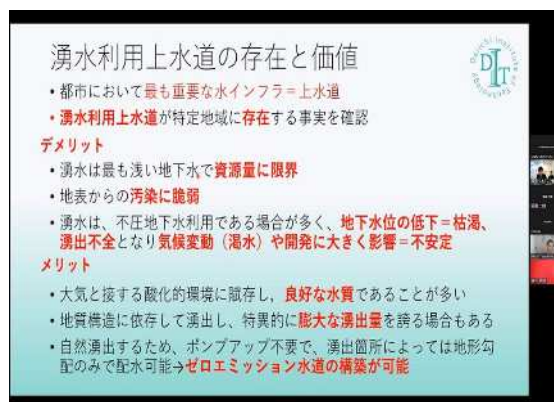
また、環霧島会議との統合に向けた合同会議では、承継事業の調整や組織体制などの協議を行い、日本ジオパークエリア拡大新規認定申請関係では、プレゼンテーション、現地調査等への対応を行った。

その他、今後世界ジオパークを目指すうえで必要とされること等について、運営主体の幹事及び自治体担当者の共通理解を図ることを目的とした視察研修をユネスコ世界ジオパークに認定されている島原半島ジオパークで行った(写真)。

月日	分類	内容	場所/開催方式	参加者
4/7	主催	第1回幹事会兼ワーキング会議	霧島市(国分公民館)	20名
4/28	主催	霧島ジオパーク推進連絡協議会定例総会	書面	-
6/22	主催	第2回幹事会兼ワーキング会議	霧島市(国分公民館)	19名
9/16	主催	第3回幹事会兼ワーキング会議	霧島市(国分公民館)	17名
9/16	主催	第1回合同会議(協議会幹事・環霧運営委員)	霧島市(国分公民館)	24名
10/31	主催	第4回幹事会兼ワーキング会議	霧島市(国分公民館)	20名

10/31	主催	第2回合同会議（協議会幹事・環霧運営委員）	霧島市(国分公民館)	26名
11/10 ～11	主催	島原半島ユネスコ世界ジオパーク視察研修	長崎県島原市	10名
11/30	主催	島原半島ユネスコ世界ジオパーク視察研修報告会	オンライン	14名
1/13	主催	第46回日本ジオパーク委員会審査結果報告会①	霧島市(国分公民館)	28名
2/10	主催	第5回幹事会兼ワーキング会議	霧島市(国分公民館)	19名
2/10	主催	第3回合同会議（協議会幹事・環霧運営委員）	霧島市(国分公民館)	19名
2/10	主催	第46回日本ジオパーク委員会審査結果検討会②	霧島市(国分公民館)	27名
3/9	主催	第46回日本ジオパーク委員会審査結果検討会③	霧島市(国分公民館)	23名

3 調査・研究に関する取組み



エリア拡大により含まれることとなった四万十累層群の露頭の調査を行った（写真左）。

また、3月18日に霧島ジオパーク学術研究発表会を開催した。これは、令和3年度から開始した学術研究支援補助事業であり、霧島ジオパークに関する学術的根拠に基づく資料の蓄積及び、研究活動の活性化を図ることを目的としている。今年度は、3件の研究活動が行われ大変貴重な研究成果の発表であった（写真右）。

<学術研究発表>

○千葉大学大学院 教授 百原 新 氏

「溝園層の大型植物化石に基づく最終氷期の霧島山北部周辺の植物相の解明」

○東京文化財研究所 アソシエイトフェロー 藤井 郁乃 氏

「霧島ジオパークにおける重層的な地域資源の利活用に関する研究」

○第一工科大学 教授 高嶋 洋 氏

「環霧島地域における湧水の持続可能性に係る研究」

月日	分類	内容	場所	参加者
6/7	調査	二子石コース登山道等状況調査	二子石 他	1名
6/30	調査	四万十累層群露頭調査	霧島市・曾於市・都城市・小林市	2名
3/18	主催	霧島ジオパーク学術研究発表会	オンライン	23名

4 保全に関する取組み



10月26日に小林市のひなもり台で開催された地層観察イベントにおいて、当事務局スタッフが講師として地層を案内し、これらの地質遺産を守り受け継いでいくことの大切さを参加者と共有した(写真左)。

また、3月26日にはエリア拡大により新たなサイトとなった国分岩戸の露頭を活用し、地層観察会を開催した。普段見慣れた風景の中にも貴重な地域資源が隠れていることを地域の方々と共有することが出来た(写真右)。

月日	分類	内容	場所／開催方式	参加者
9/27	調査	台風被害箇所調査	霧島市(丸尾滝)	1名
10/26	協力	ひなもり台地層観察ウォーキング (主催：宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森)	小林市 (ひなもり台)	13名
3/26	主催	国分岩戸地層観察会	霧島市(国分岩戸)	14名

5 教育に関する取組み



主催事業の「夏休み子ども火山スクール」を3年ぶりに開催することが出来た(写真左)。小・中・高等学校への出前講座は小学校8件(93名)、中学校2件(146名)、高校1件(40名)実施し、野外活動(学校登山)へのガイド派遣は、小学校6件(287名)、中学校1件(56名)であった。

高校生によるフィールド研修では、7月8日に都城泉ヶ丘高校理数科の生徒が関之尾滝などのサイトを巡り、南九州で繰り返し起きた巨大噴火から都城盆地の成り立ちを探る研修を行い、10月11日から12日は、市立千葉高校の生徒がえびの高原周辺での研修を行った。7月21日は、国分高校理数科

の生徒が新川溪谷の甌穴群などのサイトを巡り、地形・地質の観察から国分平野の成り立ちを探る研修を行った。

また、今年も静岡市立高校の生徒が霧島を訪れ、えびのエコミュージアムセンターの職員やジオガイドと一緒にサイトや施設の研修を行った。

その他、霧島市教育委員会と連携し霧島市内の小・中学生を対象とした「霧島市理科作品記録展」に出品のあった霧島ジオパークに関する研究記録の受賞作品を高千穂河原ビジターセンターとえびのエコミュージアムセンターで展示した（写真右）。

月日	分類	内容	場所	参加者
4/27	協力	国分高校理数科2年研究計画発表会	国分高校	40名
5/11	協力	霧島市小・中学校保健主任等研修会	霧島市(国分公民館)	42名
5/18	協力	立教池袋高校研修	えびの高原	33名
7/8	協力	都城泉ヶ丘高校理数科1年現地研修	金御岳、関之尾滝、母智丘神社	80名
7/21	協力	国分高校理数科1年フィールド研修	新川溪谷、大出水の湧水 ほか	40名
8/11	主催	夏休み子ども火山スクール	ひなもり台県民ふれあいの森	33名
9/30	協力	第1回国分高校SSH運営指導委員会	国分高校	15名
10/1～31	主催	霧島ジオパーク作品展	高千穂河原ビジターセンター	-
10/11～12	協力	市立千葉高校研修	えびの高原	40名
11/28	協力	鹿児島県高校教育研究会(地歴公民・始良伊佐地区)	国分高校	20名
12/13～14	協力	静岡市立高校研修対応	えびの高原・霧島神水峡ほか	40名
12/14	協力	国分高校理数科2年研究発表会	国分高校	40名
12/24～1/29	主催	霧島ジオパーク作品展	えびのエコミュージアムセンター	-
1/31	協力	第2回国分高校SSH運営指導委員会	第一工科大学	15名

6 防災に関する取組み



火山専門家の鹿児島大学准教授井村隆介氏を講師に招き、観光・防災・自然保護等様々な分野の関係者を対象とした火山勉強会を実施した。えびのエコミュージアムセンターから二湖パノラマ展望台・白紫池を経由し、六観音御池までを歩き、えびの高原周辺の火山活動の状況などにつ

いて、火山灰層などを一緒に観察しながら学び、目の前の自然をしっかりとらえることが大切であることを共有した（写真左）。

また、霧島山の大規模な噴火に備え、昨年8月に強固な建物にリニューアルされた高千穂河原ビジターセンターにおいて避難誘導訓練が実施された。当日は、モーターサイレンの吹鳴訓練に合わせて、高千穂河原における観光客等を安全に施設へ避難誘導するための訓練を関係機関及び霧島ジオガイドネットワークメンバーも参加し、避難誘導のあり方について確認を行った（写真右）。

月日	分類	内容	場所／開催方式	参加者
10/14	主催	火山勉強会	えびの高原池めぐり	17名
11/25	参加	高千穂河原避難誘導訓練 (主催：高千穂河原ビジターセンター運営協議会)	高千穂河原	16名

7 ジオツーリズムに関する取組み



5月8日に「山ヶ野金山めぐりと砂金さがしツアー」が、NPO法人霧島ジオパーク友の会主催で開催され、山ヶ野金山の遺構や街並み等を見学し、近くの天降川で砂金さがしを行った。地球や火山の営みを参加者と共有した（写真左）。

10月18日～19日、鹿児島県観光連盟主催でモニターツアーが行われ、えびの高原でのナイトツアー、韓国岳登山ツアーへ事務局スタッフも参加し、新たな視点での霧島山の楽しみ方を体験した。その後、ツアー商品としても販売に繋げることが出来た。

2月23日には、エリア拡大により新たなサイトとなった霧島市の天降川河口周辺においてNPO法人くすの木自然館の案内による「湿地の生き物観察ツアー」を開催した。干潟や錦江湾沿いに広がる干拓地を歩き、周辺の地形・地質と生態系との関係、自然と人の暮らしとのつながりについて、参加者に知ってもらった機会となった（写真右）。

月日	分類	内容	場所	参加者
5/8	共催	山ヶ野金山めぐりと砂金さがしツアー (主催：NPO法人霧島ジオパーク友の会)	霧島市横川町	18名
6/29	参加	環境省自然体験コンテンツガイドライン勉強会	オンライン	3名

8/3	参加	「サステナブルネイチャーフィールド鹿児島県」 事業説明会（主催：（公社）鹿児島県観光連盟）	えびのエコミュージアムセンター	1名
8/29・31	参加	観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品創出事業」モニターツアー（主催：（一社）霧島コネクト）	えびの高原、霧島神宮ほか	2名
9/28	参加	「サステナブルネイチャーフィールド鹿児島県」 セミナー&ワークショップ（主催：（公社）鹿児島県観光連盟）	鹿児島市（桜島）	2名
10/18	参加	「サステナブルネイチャーフィールド鹿児島県」 ナイトツアー（主催：（公社）鹿児島県観光連盟）	えびの高原	1名
10/19	参加	「サステナブルネイチャーフィールド鹿児島県」 韓国岳登山ツアー（主催：（公社）鹿児島県観光連盟）	韓国岳	1名
11/3～5	参加	令和4年度自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業（主催：環境省）事前アドバイザー派遣	えびの高原、関之尾滝ほか	2名
11/9	参加	霧島エリアアドベンチャーツーリズムコース検討事業 モニターツアー（主催：（一社）九州観光機構）	韓国岳	1名
11/9	参加	ゲンセン霧島巡り合うツアー（主催：霧島ガストロノミー推進協議会）	霧島市	1名
11/12	協力	国立公園満喫プロジェクト有識者視察同行（主催：環境省）	えびの高原、霧島神宮ほか	2名
11/12	参加	国立公園ストーリー作りワークショップ（主催：環境省）	霧島市（みやまコンセール）	2名
11/16	参加	令和4年度自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業（主催：環境省）オンライン 全体集合日（1）	オンライン	1名
11/21～22	参加	令和4年度自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業（主催：環境省）A・Bコース オンライン集合日	オンライン	1名
12/6	参加	令和4年度自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業（主催：環境省）オンライン 全体集合日（2）	オンライン	1名
12/10	後援	霧島ジオパーク・ウォーキング（主催：（一社） 曾於市観光協会、曾於市、（一社）都城観光協会、 都城市）	大川原峡～関之尾 滝	32名
2/3	参加	第1回国立公園満喫プロジェクト霧島地域部会 （主催：環境省）	飯野地区コミュニ ティセンター	2名
2/23	主催	エリア拡大イベント 「湿地の生き物観察ツアー」	霧島市 （天降川河口周辺）	17名

2/26	主催	これからの霧島のツーリズムを考えるガイド合同研修会（環境省主催令和4年度自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業の支援を受け実施）	えびの高原池めぐりコース	12名
2/27	主催	これからの霧島のツーリズムを考える講演会（環境省主催令和4年度自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業の支援を受け実施）	都城市 （焼酎の里 霧島ファクトリーガーデン内）	33名
3/23	参加	霧島・えびの高原ロングトレイル事業報告・意見交換会（主催：（公社）鹿児島県観光連盟）	ホテルピコラナイ えびの高原	2名

8 ジオガイドのスキルアップ等に関する取組み



ジオガイドのスキルアップを図るために、霧島ジオガイドネットワークの活動を支援した。コロナ禍の影響で研修中止を余儀なくされた回もあったが、例会と研修、エリア拡大現地調査への対応及び、他ジオパークガイドとの交流会が行われた（写真左：桜島・錦江湾ジオパークガイドとの交流会）。

また、コロナ禍の影響により延期していた、ガイド養成講座実践講座の最終回と認定試験を行い11名のジオガイドを新たに養成した（写真右）。

<霧島ジオガイドネットワーク例会・研修>

月日	分類	内容	場所
4/17	協力	第1回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「野外活動時救急講習」	霧島自然ふれあいセンター
6/19	協力	第2回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「自然公園法講習」	えびのエコミュージアムセンター
7/17	協力	霧島ジオガイドネットワーク臨時例会 協議：「エリア拡大現地調査対応について」	えびのエコミュージアムセンター
8/21	協力	第3回霧島ジオガイドネットワーク例会	えびのエコミュージアムセンター
10/16	協力	第4回霧島ジオガイドネットワーク例会韓国岳交流登山	韓国岳
12/18	協力	第5回霧島ジオガイドネットワーク例会	霧島市霧島総合支所
1/15	協力	第6回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「ジオとくらし 火山噴火と信仰」	高原町役場 狭野神社、霧島東神社

2/19	協力	第7回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「桜島ジオパークガイド交流研修」	鹿児島市（桜島）
3/19	協力	第8回霧島ジオガイドネットワーク例会 研修：「照葉樹林の樹木観察」	御池青少年自然の家、御池

※各回の研修は、会員以外も参加した（地域の観光関係ガイド、霧島ジオパーク関係者など）。

<ガイド養成講座>

月日	分類	内容	場所
4/9	主催	ガイド養成講座⑧実践講座(1)	オンライン
4/16	主催	ガイド養成講座⑧実践講座(2)	オンライン
5/28	主催	ガイド養成講座 2021 試験(1)	霧島市（福山港周辺）
5/31	主催	ガイド養成講座 2021 試験(2)	霧島市（福山港周辺）
7/26	主催	ガイド養成講座修了会議①	オンライン
7/28	主催	ガイド養成講座修了会議②	オンライン

9 普及啓発に関する取組み



12月17日、火山の石文化について地域住民へ周知を図ることを目的とした「石蔵で聞く石のおはなし」を都城島津邸内で行った。講師の鹿児島大学名誉教授大木公彦氏から、南九州の各地で石材として使用されている石の正体と島津家をはじめこの地に暮らしてきた人々が、これらを上手に利用してきた文化・歴史について話をいただき、参加者からも好評を得た（写真左）。

また、霧島ジオパークのエリア拡大認定について、ホームページや構成自治体の広報紙等を活用し、地域住民への周知を図るとともに、湧水町へのサイン看板の設置（写真右：国道268号沿い）や各市町の総合案内看板の改修を行った。

その他、関係施設へのタペストリー、パンフレット、ポスター等の配置や構成自治体による講演会等を後援した。

月日	分類	内容	場所等
10/15	参加	鹿児島空港空の日フェスティバル（ブース出展）	鹿児島空港
11/8～ 3/24	主催	霧島山VR体験コンテンツ設置（開発：(株)ジーアイエス南九州）	えびのエコミュージアムセンター

12/1～15	協力	宮崎地域資源ブランド関係展示（主催：宮崎県）	宮崎県庁防災庁舎
12/6	後援	霧島ジオパーク講演会（主催：霧島ネイチャーガイドクラブ・小林市）	小林市（参加者 82 名）
12/17	主催	エリア拡大イベント「石蔵で聞く石のおはなし」	都城市（都城島津邸）
2/16	後援	霧島ジオパーク講演会（主催：湧水町）	湧水町（参加者 90 名）
2/27	後援	霧島ジオパーク講習会（主催：高原町）	高原町（参加者 21 名）
3/18	後援	霧島ジオパーク市民講座（主催：えびの市）	えびの市（参加者 49 名）
3/25	協力	企画展 そうだったのか！霧島山（6/4 まで）	鹿児島県立博物館

10 JGN 関連会議等への参加



10月の全国大会では、“守る”をテーマに「霧島ジオパークにおけるサイト等の更新について：成果と課題」の発表を行い、全国のジオパーク関係者と情報共有を行った（写真左）。

また、11月には栗駒山麓ジオパークで開催された全国研修会に参加した。研修会では、ジオパークにおける地質遺産の保全と活用について見つめ直し、その考え方や具体的な保全の手法を学び、「守る」ことが地域の発展につながることを参加者全員で共有した（写真右）。

月日	分類	内容	場所／開催方式
5/21	参加	JGN 運営会議	千葉市幕張メッセ
7/4	参加	JGC ジオパーク基礎研修オンライン①	オンライン
7/8	参加	JGC ジオパーク基礎研修オンライン②	オンライン
7/11	参加	JGC ジオパーク基礎研修オンライン③	オンライン
7/13	参加	JGC ジオパーク基礎研修オンライン④	オンライン
7/19	参加	第1回 JGN 専門員ミーティング	オンライン
9/15	参加	第2回 JGN 専門員ミーティング	オンライン
10/21	参加	JGN 事務局長会議・運営会議	石川県白山市
10/21～23	参加	第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会	石川県白山市
11/18	参加	第3回 JGN 専門員ミーティング	オンライン
11/21～23	参加	第17回日本ジオパークネットワーク全国研修会 in 栗駒山麓	宮城県栗原市
12/17	参加	日本ジオパーク委員会審査基準検討会議	オンライン
1/27	参加	第4回 JGN 専門員ミーティング	オンライン

3/1	参加	JGN オンライン研修会 (ジェンダー平等の推進)	オンライン
-----	----	---------------------------	-------

11 ネットワークへの貢献に関する取組み



10月1日～2日、熊本県博物館ネットワークセンターの関係者が霧島ジオパークの巡検に来られ、えびの高原や硫黄谷噴気地帯などを当事務局スタッフが案内した（写真左：霧島市「霧島神水峡」）。

12月18日、Mine 秋吉台ジオパークで各地のジオパークのご当地スイーツを集めたジオスイーツパラダイスが開催され、霧島ジオパークからは、2011年に噴火した新燃岳をモチーフにしたクッキー「しんもえ（菓子）」を出展した。

2月11日～12日、島原半島ジオパーク内の高校生が霧島ジオパークを訪れ、大地の成り立ちと地域産業のつながりについて学んだ（写真右：曾於市「溝ノ口洞穴」）。

月日	分類	内容	場所／開催方式
8/6～7	参加	おおいたジオパークフェスタ（ブース出展）	大分県大分市
10/1～2	協力	熊本県博物館ネットワークセンター巡検対応	えびの高原～硫黄谷噴気地帯 他
12/18	協力	ジオスイーツパラダイス（坂田金時堂「しんもえ」出展）	Mine 秋吉台ジオパーク
2/11～12	協力	島原半島ジオパーク高校生研究発表会最優秀賞副賞にかかる高校生研修	母智丘神社 他

12 パートナーシップの推進



霧島ジオパークでは、ジオパークの推進に関する活動を通じて、相互発展と環霧島地域の持続可能

な発展に寄与することを目的とした、パートナーシップ協定の推進を行っている。

令和4年度は、協議会として初となる民間事業者2社とのパートナーシップ協定を締結した（写真：霧島酒造株式会社「霧の蔵ミュージアム」）。これにより、協定締結団体は6箇所となった。

<新規締結事業者>

- 霧島酒造株式会社（R4. 11. 1）
- 一般社団法人霧島コネクト（R4. 12. 1）

<これまでの締結先>

- 公益財団法人鹿児島県文化振興財団上野原縄文の森（R4. 4. 1）
- 鹿児島県立埋蔵文化財センター（R4. 4. 1）
- 鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター（R4. 4. 1）
- 宮崎県御池青少年自然の家（H28. 11. 17）

※4.1 締結団体については、昨年度総会で報告済み。

認定証

霧島ジオパーク推進連絡協議会 殿

貴地域は厳正な審査の結果
日本ジオパークにふさわしい優れた
活動の実践と維持継続および
改善への取り組みが評価されました
ここに領域拡大された霧島ジオパークを
日本ジオパークとして認定します

2022年9月28日

日本ジオパーク委員会

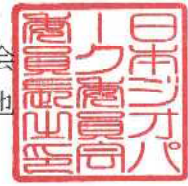
委員長 中田 節也



2022年11月17日

霧島ジオパーク推進連絡協議会
会長 中重真一 様

日本ジオパーク委員会
委員長 中田 節也



第46回日本ジオパーク委員会審査結果通知書

2022年9月28日に行われた第46回日本ジオパーク委員会において、貴地域は認定となりました。その審議の過程における貴地域に対する委員会からの意見をまとめて、ここに通知します。

【総評】

霧島ジオパークは、構成自治体の領域全体と湧水町を加えて、エリアを現行の約3.3倍に拡大し、霧島山の自然環境と5市2町の文化圏を尊重した領域となった。また、「火山活動に合わせた持続可能な地域づくり」を目指した活動を進め、より霧島エリアの魅力を伝えることができるようになった。

前回の指摘事項については、ほぼその解決に向けて活動が進められている。新たな取組として、アウトドア分野の民間事業者との連携は、ウィズコロナ時代の新たなツーリズムの可能性を広げ、多様な視点からジオパークの理解を進めていくことができる。

一方で、懸案だった霧島ジオパークの活動を支える事務局体制の充実については、今回のエリア拡大に伴っての組織の改善・工夫は見られるものの、霧島市以外の職員の参画や、役割分担が適正に行われているかが明確ではなかった。エリア拡大とともに、新たなツーリズムメニューやパートナーシップ、学校教育などへの活動を進めていくためには、事務局スタッフの数と役割を考慮した配置が望まれる。

【優れている点】

- ・エリア拡大により、構成自治体における地形・地質サイトや自然サイト、文化サイトが増え、霧島ジオパークの多様性が高まった。特に湧水町の加入で火山の恵みと歴史や環境について考えることができるサイトが加わった。
- ・エリア拡大に伴って、霧島ジオパーク推進連絡協議会の組織の再編が行われ、新たに、構成自治体から専門知識を持った職員を学術委員に任命し、協議会での活動の支援・助言を行う仕組みができた。
- ・ジオツーリズムに関連した新たな事業者との連携が進んでいる。特に、ジオパークの立地を利用したカヤックやロングトレイルなどのアウトドア活動との連携は、ウィズコロナ時代の新たなツーリズムの可能性を広げ、多様な視点からのジオパークの理解を進めていくことができる。
- ・鹿児島県の施設を中心にパートナーシップ協定の締結が進み、今後も民間事業者との締結を控えている。霧島ジオパークにビジネスの機会を求めている民間事業者や、霧島ジオパークのファンも存在し、今後の事業連携の可能性をおおいに感じる事ができた。

【今後の課題・改善すべき点】

I できるだけ早く着手ないし解決すべき課題（おおむね2年以内）

1. 環霧島会議とジオパークの運営組織を統合する組織改編をきっかけに、ジオパークを構成する全ての自治体が運営とネットワーク活動にさらに積極的に関与する体制を作ることが望まれる。
2. エリア拡大に伴って、管理すべき領域が広がり、パートナーシップや学校教育との連携の進展から、今後も業務量が増加することが予想される。1.の組織改編をきっかけに、スタッフや専門員の数を増やすことで、事務局体制の強化を進めていただきたい。
3. エリア拡大によって、広範囲に分布するサイトを構成自治体やガイド団体、その他のステークホルダー等と協働して、保全・管理していく方法を検討してほしい。

II 中長期的に解決すべき事項

4. 観光マーケティングを進め、目的に応じて計画的に看板等を設置し、観光動線の把握に基づく可視性の向上を図ってほしい。また、エリア全体の地域住民がジオパークを自分ごととして考え、協働するための一歩として、ジオパークとは何かを知り、自らがジオパークに住んでいると認知できるような活動を進めてほしい。
5. ジオパーク全体で、ジオツアーの商品化や来訪者が満足するようなガイド力の向上を図っていただきたい。ジオパークのテーマやストーリーを持ったジオツアーの開発を期待したい。
6. 教育旅行のニーズに対して、霧島ジオパークの強みを活かしたプログラムづくりと、ジオパーク側からの誘致活動が求められる。

以上で指摘した点や現地調査で指摘された点を含め、今後どのように改善するか、人や予算の裏付けとスケジュールを明記したアクションプランの形で、半年以内に日本ジオパーク委員会に報告してください。それらの進捗については、4年後の再審査の際の審査対象とします。

以上

議案第4号

令和4年度霧島ジオパーク推進連絡協議会決算書(総括表)

歳入

(単位:円)

費目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C) (A)+(B)	収入済額(D)	増減額 (D)-(C)
1負担金	7,018,000	0	7,018,000	7,018,000	0
2繰越金	1,587,000	0	1,587,000	1,588,363	1,363
3諸収入	2,000	0	2,000	18,543	16,543
合計	8,607,000	0	8,607,000	8,624,906	17,906

歳出

(単位:円)

費目	当初予算額(A)	補正・流用額 (B)	予算現額(C) (A)+(B)	支出済額(D)	不用額 (C)-(D)	
事業費	1報償費	493,000	0	493,000	235,600	257,400
	2旅費	3,257,000	△1,117,000	2,140,000	1,859,360	280,640
	3需用費	175,000	930,000	1,105,000	1,104,394	606
	4役務費	19,000	0	19,000	18,250	750
	5委託料	1,953,000	387,000	2,340,000	2,339,880	120
	6使用料 及び賃借料	392,000	183,000	575,000	386,715	188,285
	8負担金補助及 び交付金	2,053,000	△478,000	1,575,000	1,260,200	314,800
事業費合計(E)	8,342,000	△95,000	8,247,000	7,204,399	1,042,601	
事務費	3需用費	160,000	△19,000	141,000	140,945	55
	4役務費	105,000	38,000	143,000	142,359	641
	7備品購入費	0	76,000	76,000	75,250	750
事務費合計(F)	265,000	95,000	360,000	358,554	1,446	
合計(E)+(F)	8,607,000	0	8,607,000	7,562,953	1,044,047	

収入済額合計	8,624,906	①
支出済額合計	7,562,953	②
差引額	1,061,953	③(①-②)
次年度繰越額	1,061,953	

令和4年度霧島ジオパーク推進連絡協議会決算書(通常予算)

歳入

(単位:円)

費目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C) (A)+(B)	収入済額(D)	増減額 (D)-(C)	説明
1負担金	5,922,000	0	5,922,000	5,922,000	0	協議会構成5市2町負担金
2繰越金	1,450,000	0	1,450,000	1,450,541	541	
3諸収入	1,000	0	1,000	18,536	17,536	主催イベント参加費・預金利息
合計	7,373,000	0	7,373,000	7,391,077	18,077	

歳出

(単位:円)

費目	当初予算額(A)	補正・流用額(B)	予算現額(C) (A)+(B)	支出済額(D)	不用額 (C)-(D)	説明	
事業費	1報償費	493,000	0	493,000	235,600	257,400	各種イベント講師謝金等
	2旅費	2,697,000	△ 835,000	1,862,000	1,706,360	155,640	日本ジオパーク全国大会参加旅費等
	3需用費	175,000	930,000	1,105,000	1,104,394	606	公式コースブック増刷等
	4役務費	17,000	0	17,000	16,820	180	保険料、送料等
	5委託料	1,381,000	288,000	1,669,000	1,668,880	120	サイン看板設置業務、HP保守管理業務等
	6使用料及び賃借料	392,000	0	392,000	204,645	187,355	霧島ジオガイドネットワーク研修時バス借上料等
	8負担金補助及び交付金	1,953,000	△ 478,000	1,475,000	1,260,200	214,800	JGN年会費、学術研究支援補助金等
事業費合計(E)	7,108,000	△ 95,000	7,013,000	6,196,899	816,101		
事務費	3需用費	160,000	△ 19,000	141,000	140,945	55	事務消耗品等
	4役務費	105,000	38,000	143,000	142,359	641	郵送用切手代、送料、振込手数料等
	7備品購入費	0	76,000	76,000	75,250	750	標本箱、岩石採取用ハンマー等
事務費合計(F)	265,000	95,000	360,000	358,554	1,446		
合計(E)+(F)	7,373,000	0	7,373,000	6,555,453	817,547		

収入済額合計	7,391,077	①
支出済額合計	6,555,453	②
差引額	835,624	③(①-②)
次年度繰越額	835,624	

令和4年度霧島ジオパーク推進連絡協議会決算書(特別予算)

歳入

(単位:円)

費目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C) (A)+(B)	収入済額(D)	増減額 (D)-(C)	説明
1負担金	1,096,000	0	1,096,000	1,096,000	0	協議会構成5市2町等負担金
2繰越金	137,000	0	137,000	137,822	822	
3諸収入	1,000	0	1,000	7	△ 993	預金利息
合計	1,234,000	0	1,234,000	1,233,829	△ 171	

歳出

(単位:円)

費目	当初予算額(A)	補正・流用額(B)	予算現額(C) (A)+(B)	支出済額(D)	不用額 (C)-(D)	説明
事業費	2旅費	△ 282,000	278,000	153,000	125,000	幹事会島原半島ジオパーク視察旅費
	4役務費	0	2,000	1,430	570	振込手数料
	5委託料	99,000	671,000	671,000	0	総合案内板デザイン変更業務
	6使用料及び賃借料	183,000	183,000	182,070	930	幹事会島原半島ジオパーク視察時バス借上料
	8負担金補助及び交付金	0	100,000	100,000	0	100,000
合計	1,234,000	0	1,234,000	1,007,500	226,500	

収入済額合計	1,233,829	①
支出済額合計	1,007,500	②
差引額	226,329	③(①-②)
次年度繰越額	226,329	

令和4年度 霧島ジオパーク推進連絡協議会決算 不用額調書

1 通常予算

単位(円)

費目		当初予算額 (A)	補正流用額 (B)	予算現額(C) (A+B)	支出済額 (D)	不用額 (C-D)	不用額理由
事業費	1 報償費	493,000	0	493,000	235,600	257,400	各地で開催を予定していたエリア拡大イベントのうち、実施できなかったツアー等に係る謝金等の残
	2 旅 費	2,697,000	△ 835,000	1,862,000	1,706,360	155,640	エリア拡大現地調査に要する調査員旅費等の残
	6 使用料及び賃借料	392,000	0	392,000	204,645	187,355	主催ツアー及びガイド研修に係るバス借上げ料の残
	8 負担金補助及び交付金	1,953,000	△ 478,000	1,475,000	1,260,200	214,800	ジオパーク各種大会等参加旅費補助金等の残

2 特別予算

単位(円)

費目		当初予算 (A)	補正流用額 (B)	予算現額(C) (A+B)	支出済額 (D)	不用額 (C-D)	不用額理由
2 旅費		560,000	△ 282,000	278,000	153,000	125,000	APGN国際会議参加見送りによる参加旅費の残
8 負担金補助及び交付金		100,000	0	100,000	0	100,000	APGN国際会議参加見送りによる参加負担金の残

※不用額10万円以上のみ記載

議案第4号

令和4年度 監査結果報告

霧島ジオパーク推進連絡協議会の令和4年度決算書、証拠書類及び関係帳簿等を審査した結果、適正に執行されていることを認める。

令和5年8月25日

霧島ジオパーク推進連絡協議会

監事 川野利光  印

((一財)自然公園財団えびの支部・高千穂河原支部所長)

令和5年4月25日

霧島ジオパーク推進連絡協議会

監事 徳重克彦  印

((公社)霧島市観光協会会長)

令和5年度霧島ジオパーク推進連絡協議会事業計画（案）

「第2次霧島ジオパーク基本計画」及び「霧島ジオパークアクションプラン2022-2029」、「霧島ジオパーク・課題解決アクションプラン2023-2026」に基づき、持続可能な地域社会の発展を実現すべく多種多様な事業を展開する。主要な事業は以下の通りである。

1 地域資源を守り生かします（保全・研究）

（1）サイトの保全管理

概要：サイト保全計画の策定に本格的に取り組む前段階として、霧島ジオパーク管内において特に重要なサイトまたは場所における保全活用の指針づくりを行う。対象は、近年の新燃岳の火山活動の影響で地形や環境に大きな変化が見られる場所を想定している。

時期：通年

（2）学術研究支援補助事業

概要：霧島ジオパークの地域資源を対象とした調査・研究に要する費用の一部を補助し、霧島ジオパークに関する学術的根拠に基づく資料の蓄積及び研究活動の活性化を図る。

時期：随時

その他

地域住民向け観察会（随時）

2 地域資源を活用し、活躍する「人」を育みます（普及啓発・教育・人材育成）

（1）Webサイト等を活用した情報発信

概要：地域住民や来訪者に対して、エリア拡大に伴うホームページコンテンツの拡充や霧島ジオパークYouTubeチャンネル等を活用し、霧島ジオパークのより効果的な情報発信につなげていく。また、各種イベントチラシ等へのロゴマークやキャラクター使用を推進し、霧島ジオパーク活動の普及啓発を行う。

時期：通年

（2）エリア拡大に伴うストーリーづくり **新規**

概要：エリア拡大によって、広がった霧島ジオパーク管内の様々な事象を地球の観点で読み解いたジオストーリーづくりを行う。

時期：通年

（3）エリア拡大周知イベントの開催

概要：エリア拡大により新たな見どころとなった場所等を活用し、ジオの魅力や特性を体感することが出来るようなイベントを実施する。

時期：随時

(4) 夏休み子ども火山スクール

概要：毎年実施している子ども向け科学イベントに、より多くの人に関わってもらう形で実施する。

時期：8月

(5) ガイドのスキルアップ研修

概要：霧島ジオガイドネットワークの活動を支援し、各員が自らの言葉でジオストーリーをわかりやすく伝えることができるガイドを目指すためのスキルアップ研修等を行う。

時期：通年

その他

教職員フィールド研修（7月）、野外活動へのジオガイド派遣（随時）、出前講座（随時）

3 未来を生き抜く知恵を身につけます（防災・減災）

(1) 火山勉強会

概要：火山専門家を講師として招き、観光・防災・自然保護等様々な分野の関係者向けに実地研修を行い、火山との向き合い方について共に考える場とする。

時期：11月

その他

自然災害伝承碑調査（随時）

4 地域資源を活用しやすい環境を整備します（環境整備・ツーリズム・地域振興）

(1) 拠点施設等と各種看板の整備

概要：拠点施設等の展示内容の適宜更新やエリア拡大に伴うサイト看板等の更新を行い、来訪者等に地域資源の魅力をわかりやすく伝える。

時期：通年

(2) ジオ商品認定制度の検討

概要：当地域の特産品や地場産業が育まれたストーリー（当地域ならではの物語）を付したジオ商品開発を推進するための協議を行う。

時期：通年

その他

霧島ジオパークツアー商品造成補助事業、来訪者動向調査（随時）

5 霧島ジオパークの活動を持続可能とする運営基盤を整備します（推進体制・計画）

(1) 組織体制の見直し及び事務局体制の強化

概要：環霧島会議との統合により運営体制を再編する。また、構成市町間での事業連携や職員派遣等により、各市町の主体的な関与を促し事務局体制の強化を図る。

時期：通年

(2) パートナーシップの推進

概要：霧島ジオパーク活動との連携を深め、相互発展につながるような取組を行う。また、引き続き地域団体や企業等とのパートナーシップ協定を推進する。

時期：通年

6 他地域等とのネットワークを活用し、相互に向上を図ります（ネットワーキング）

(1) 全国大会・全国研修会等への参画

概要：ジオパークネットワークの開催する全国大会や全国研修等へ参画し、他ジオパークとの交流を通じて得た、経験や知見を霧島ジオパークの活動につなげていく。

時期：随時

(2) 他ジオパークとの連携

概要：火山系ジオパークと連携した事業の検討を行う。また、世界ジオパーク認定を見据え、桜島・錦江湾ジオパークとの統合に向けた合同事業の開催や両関係者の交流を行う。

時期：随時

(3) 生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）との連携

概要：エリア拡大により、エリアが重複する綾ユネスコエコパークとの連携事業を開催する。

時期：随時

<図. 霧島ジオパークのこれまでのあゆみ>

ジオパーク申請・認定関係	年度	イベント主催関係
霧島ジオパーク推進連絡協議会発足	2008 (H20)	
日本ジオパーク申請延期	2009 (H21)	
日本ジオパーク申請・認定	2010 (H22)	宮崎県南部口蹄疫被害
	2011 (H23)	新燃岳 2011 年噴火
	2012 (H24)	
世界ジオパーク推薦申請・認定見送り	2013 (H25)	日本ジオパーク全国研修会開催
日本ジオパーク再認定	2014 (H26)	
	2015 (H27)	日本ジオパーク全国大会開催
世界ジオパーク推薦申請・認定見送り	2016 (H28)	
	2017 (H29)	新燃岳 2017 年噴火
日本ジオパーク再認定	2018 (H30)	桜島・錦江湾ジオパークとの統合に関する協議の開始
新燃岳, えびの高原 2018 年噴火	2019 (R01)	
	2020 (R02)	
	2021 (R03)	
日本ジオパークエリア拡大申請・認定	2022 (R04)	

令和5年度 霧島ジオパーク推進連絡協議会当初予算案(総括表)

歳入

単位:千円

費目	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増減	説明
1負担金	10,178	7,018	3,160	
2繰越金	1,061	1,587	△ 526	
3諸収入	11	2	9	
歳入合計	11,250	8,607	2,643	

歳出

単位:千円

費目	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増減	説明
事業費				
1 報償費	350	493	△ 143	
2 旅費	1,738	3,257	△ 1,519	
3 需用費	180	175	5	
①消耗品費	180	65	115	
③印刷製本費	0	110	△ 110	
4 役務費	29	19	10	
③手数料	14	8	6	
④保険料	15	11	4	
5 委託料	6,241	1,953	4,288	
6使用料及び 賃借料	337	392	△ 55	
8負担金補助及 び交付金	1,765	2,053	△ 288	
事業費計	10,640	8,342	2,298	
事務費				
3 需用費	150	160	△ 10	
①消耗品費	150	160	△ 10	
4 役務費	170	105	65	
①消耗品費	140	75	65	
③印刷製本費	30	30	0	
7備品購入費	290	0	290	
事務費計	610	265	345	
歳出合計	11,250	8,607	2,643	

令和5年度 霧島ジオパーク推進連絡協議会当初予算案(通常予算)

歳入

単位:千円

費目	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増減	説明
1負担金	9,023	5,922	3,101	協議会構成5市2町負担金
2繰越金	835	1,450	△ 615	
3諸収入	10	1	9	イベント参加費、預金利息等
歳入合計	9,868	7,373	2,495	

歳出

単位:千円

費目	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増減	説明
1.事業費				
1 報償費	350	493	△ 143	イベント時講師謝金等
2 旅費	1,738	2,697	△ 959	JGN全国大会・その他会議等参加旅費
3 需用費	180	175	5	
①消耗品費	180	65	115	環境保全普及啓発用物品等
③印刷製本費	0	110	△ 110	
4 役務費	27	17	10	
③手数料	12	6	6	イベント出展手数料
④保険料	15	11	4	ジオパーク保険
5 委託料	4,861	1,381	3,480	ストーリー検討業務、動画配信業務、ホームページ管理業務等
6使用料及び 賃借料	337	392	△ 55	映像コンテンツ使用料、バス借上げ料等
8負担金補助及 び交付金	1,765	1,953	△ 188	JGN会費、学術研究補助、商品造成補助等
事業費計	9,258	7,108	2,150	
2.事務費				
3需用費	150	160	△ 10	
①消耗品費	150	160	△ 10	事務消耗品等
4役務費	170	105	65	
①通信運搬費	140	75	65	荷物送料等
③手数料	30	30	0	振込手数料等
7備品購入費	290	0	290	事務局派遣職員用PC等
事務費計	610	265	345	
歳出合計	9,868	7,373	2,495	

令和5年度 霧島ジオパーク推進連絡協議会当初予算案(特別予算)

歳入

単位:千円

費目	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増減	説明
1負担金	1,155	1,096	59	協議会構成5市2町及び県負担金
2繰越金	226	137	89	
3諸収入	1	1	0	預金利息
歳入合計	1,382	1,234	148	

歳出

単位:千円

費目	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増減	説明
3.事業費				
2旅費	0	560	△ 560	
4 役務費	2	2	0	
③手数料	2	2	0	振込手数料
5 委託料	1,380	572	808	サイト看板更新業務等
8負担金補助及び交付金	0	100	△ 100	
事業費計	1,382	1,234	148	
歳出合計	1,382	1,234	148	

令和5年度 霧島ジオパーク推進連絡協議会当初予算案(総括表) 構成市町負担金積算額

(単位:円)

市町名	通常予算分 負担金額 (A)	特別予算分 負担金額 (B)	令和5年度 負担金額合計 (A)+(B)=(C)	令和4年度			
				対支出確定額		対当初予算編成時の額	
				負担金額	増減	負担金額	増減
				(D)	(C)-(D)	(E)	(C)-(E)
都城市	2,648,000	412,000	3,060,000	1,933,000	1,127,000	2,138,000	922,000
高原町	768,000	51,000	819,000	679,000	140,000	724,000	95,000
小林市	1,202,000	135,000	1,337,000	968,000	369,000	1,050,000	287,000
えびの市	913,000	79,000	992,000	775,000	217,000	832,000	160,000
霧島市	1,666,000	160,000	1,826,000	960,000	866,000	1,145,500	680,500
曾於市	1,058,000	53,500	1,111,500	821,500	290,000	917,500	194,000
湧水町	768,000	25,500	793,500	654,500	139,000	0	793,500
鹿児島県		239,000	239,000	227,000	12,000	227,000	12,000
(宮崎県)		(338,500)	(338,500)	(321,000)	17,500	(347,500)	△9,000
合計	9,023,000	1,155,000	10,178,000	7,018,000	3,160,000	7,034,000	3,144,000

※鹿児島県は、特別分にかかる鹿児島県内構成市(霧島市、曾於市、湧水町)の負担金に対し、1/2に相当する金額を負担金として計上予定。

※宮崎県は、特別分にかかる宮崎県内構成市町(都城市、高原町、小林市、えびの市)の負担金に対し、1/2に相当する金額を市町への補助金として計上予定。

※「令和4年度支出確定額」=令和4年度協議会当初予算額

※「令和4年度当初予算編成時の額」とは、各団体が令和4年度当初予算に計上している額

令和5年度 霧島シオパーク推進連絡協議会当初予算案(通常分) 構成市町負担金積算額

(単位:円)

市町名	負担金総額				9,023,000 円				負担金額 端数調整後 (千円)	令和4年度			
	均等割(20%)		人口割(80%)		金額(B)	小計	職員調整 一律500,000円	調整後小計		対支出確定額		対当初予算編成時の額	
	金額(A)	人口(人)	金額(A)	人口(人)						負担金額	増減	負担金額	増減
					(A)+(B)=(C)		金額(D)	(C)+(D)		(F)	(E)-(F)	(G)	(E)-(G)
都城市	172,086	160,640	0.41	1,975,544	2,147,630	500,000	2,647,630	2,648,000	1,542,000	1,106,000	1,723,000	925,000	
高原町	172,086	8,639	0.02	96,368	268,454	500,000	768,454	768,000	630,000	138,000	667,000	101,000	
小林市	172,086	43,670	0.11	530,024	702,110	500,000	1,202,110	1,202,000	841,000	361,000	911,000	291,000	
えびの市	172,086	17,638	0.05	240,920	413,006	500,000	913,006	913,000	700,000	213,000	748,000	165,000	
霧島市	172,086	123,135	0.31	1,493,704	1,665,790	0	1,665,790	1,666,000	808,000	858,000	979,000	687,000	
曾於市	172,086	33,310	0.08	385,472	557,558	500,000	1,057,558	1,058,000	771,000	287,000	857,000	201,000	
湧水町	172,086	9,119	0.02	96,368	268,454	500,000	768,454	768,000	630,000	138,000	0	768,000	
合計	1,204,602	396,151	1.00	4,818,400	6,023,002	3,000,000	9,023,002	9,023,000	5,922,000	3,101,000	5,885,000	3,138,000	

※人口=令和2年度国勢調査による

※負担金積算方法

- 1 負担金総額から職員調整額(霧島市専門員採用負担金)3,000千円を差引く
- 2 差し引いた額から2割分を均等割で算出
- 3 差し引いた額から8割分を人口割で算出
- 4 均等割と人口割に職員調整額(500千円)を加え負担金額を算出(霧島市以外)

※「令和4年度支出確定額」=令和4年度協議会当初予算額

※「令和4年度当初予算編成時の額」とは、各団体が令和4年度当初予算に計上している額

=	6,023,000
=	1,204,600
=	4,818,400

令和5年度 霧島シオパーク推進連絡協議会当初予算案(特別分) 構成市町負担金積算額

(単位:円)

市町名	負担金総額				1,155,000		円		令和4年度	
	均等割(20%)		人口割(80%)		金額(B)	小計	対支出確定額		対当初予算編成時の額	
	金額(A)	人口(人)	金額(B)	人口(人)			負担金額	増減	負担金額	増減
	231,000	924,000	924,000	924,000	(A)+(B)=(C)	(F)	(E)-(F)	(G)	(E)-(G)	
		負担金率(%)								
都城市	33,000	160,640	0.41	378,840	411,840	412,000	391,000	21,000	415,000	△ 3,000
高原町	33,000	8,639	0.02	18,480	51,480	51,000	49,000	2,000	57,000	△ 6,000
小林市	33,000	43,670	0.11	101,640	134,640	135,000	127,000	8,000	139,000	△ 4,000
えびの市	33,000	17,638	0.05	46,200	79,200	79,000	75,000	4,000	84,000	△ 5,000
霧島市	33,000	123,135	0.31	286,440	319,440	320,000	152,000	8,000	166,500	△ 6,500
曾於市	33,000	33,310	0.08	73,920	106,920	107,000	50,500	3,000	60,500	△ 7,000
湧水町	33,000	9,119	0.02	18,480	51,480	51,000	24,500	1,000	0	25,500
鹿児島県						239,000	227,000	12,000	227,000	12,000
(宮崎県)						338,500	(321,000)	17,500	(347,500)	△ 9,000
合計	231,000	396,151	1.00	905,520	1,136,520	1,155,000	1,096,000	59,000	1,149,000	6,000

※人口=令和2年度国勢調査による

※負担金積算方法

1 総額から2割分を均等割りで算出

2 総額から8割分を人口割りで算出

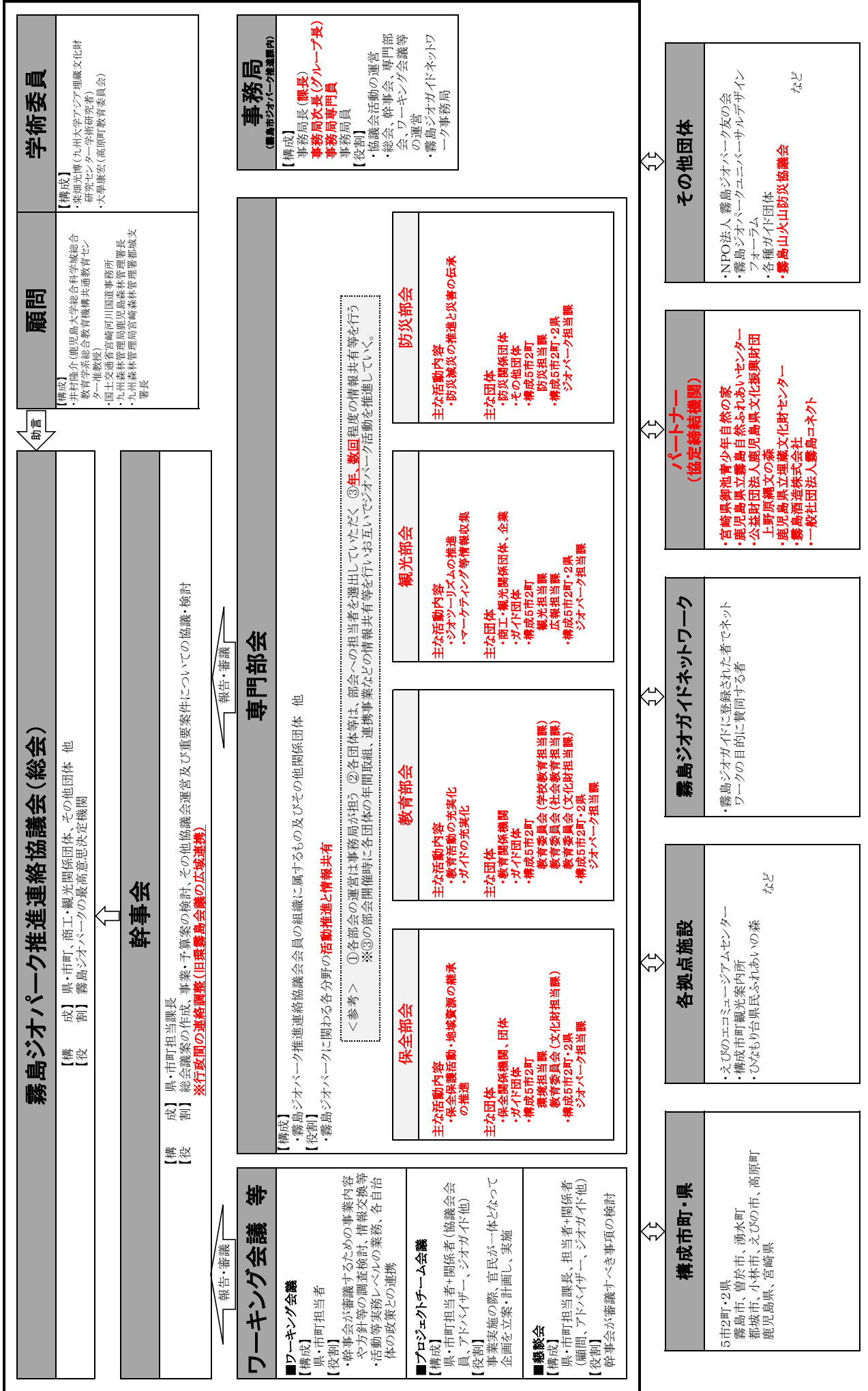
※「令和4年度支出確定額」=令和4年度協議会当初予算額

※「令和4年度当初予算編成時の額」とは、各団体が令和4年度当初予算に計上している額。

=	231,000
=	924,000

1,155,000 × 0.2

1,155,000 × 0.8



○事務局(構成)体制について
 変更前:事務局次長(課長) 幹事次長(課長) 事務局次長(グループ長) 事務局専門員 事務局員
 変更後:事務局次長(課長) 事務局次長(グループ長) 事務局専門員 事務局員